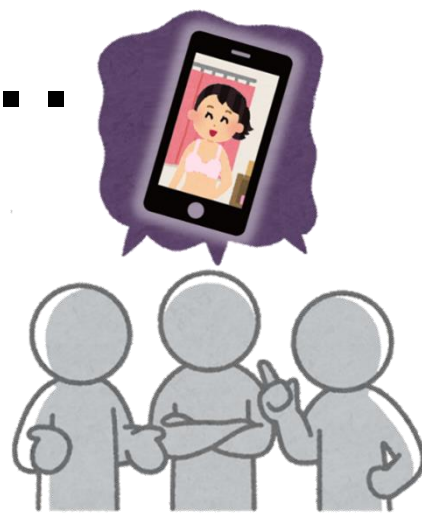


# 不適切な画像や動画が 広まってしまったら・・・

TwitterやInstagram、LINEのグループチャットなどに不適切な性的な画像が出回ってしまう「自画撮り被害」「児童ポルノ被害」が増えています。このような被害は、大きく分けて、子どもがインターネットで知り合った人に画像を送ってしまうケースと、身近な恋人や友達に送ってしまうケースがあります。今回は後者のケース、もし、学校の子どもたちの間で不適切な画像が広まってしまったらどうすればいいかを考えてみましょう。



## どのように拡散を防ぐか

最も避けなければならないのは、画像が子どもたちの間だけではなく、SNSや掲示板など外部のインターネット上に拡散してしまうことです。一度でも外部に広まってしまうと、全てを回収することはほぼ不可能です。従って、子どもたちの間でのみ、画像が行き来している段階で、画像の拡散を防止する必要があります。まずは警察と連携し、どこまで拡散されているかを把握しましょう。また、迅速に対応できるよう、事前に対応方法などを決めておくことが大切です。

## 削除の際の注意点

広まった画像を削除するとき気を付けることは、スマートフォン本体のような端末から削除するだけでなく、別の場所に保管されていないかどうかをきちんと確認することです。見逃しがちなのはクラウドやオンラインストレージと呼ばれる、インターネット上の保存スペースです。端末から削除すると一見なくなっただけに見えますが、実はクラウド上に残っていたというケースがあります。また、SDメモリーカードやUSBメモリのような外部記録媒体にデータを保管している場合もありますので注意が必要です。



## 指導の要点

本件のような問題が発覚したとき、本来、一番最初にすべきことは警察への相談です。拡散した画像を削除するために、児童生徒のスマートフォンやパソコンを確認する必要がありますが、そのような場合に警察が対応することで物事がスムーズに進むことが期待できます。しかし、保護者が警察の介入を望まないケースもあると思いますので、学校でも対応できるよう、少なくとも「どこに画像が保存されているか」という知識は持つておくようにしましょう。

また、普段から、人に見られて困るような画像はどんな理由があっても誰かに送らない、送らせないということを、子どもたちに繰り返し伝えてください。